

自然災害への冷たい対応

超大型の台風が首都圏を直撃し、甚大な被害が生じた。とりわけ千葉県では停電や断水などライフラインの復旧に時間がかかり、35度を超える猛暑の中、熱中症患者が相次いだ。成田空港では都内へ出る交通網が麻痺、身動きがとれなくなった人たちが続出した。



自分は東京郊外に住んでいるので台風の直撃を受けたものの大きな被害は免れたが、台風が通過した日を除けば、テレビをザッピングしていても、一向に復旧



武田砂鉄の いかがなものか!?

②

木など危機的な状況がいくつも流れてくる。東京に近いからといって、そこが主たる経済圏ではない、という理由で放置されているような、そんな気がした。

しない千葉の状況がさほど伝わってこない。SNSを通じて、商品が全て空っぽになったコンビニエンスストアや道路に横たわった大

「そんな気がした」が確信に変わったのは、安倍政権が11日に予定通り内閣改造を行ったから。安倍首相のTwitterを振り返ってみると、今月1日のツイートの「今日は9月1日『防災の日』です。今から千葉県船橋市に向かい、防災訓練に参加します」とある。たった10日前、防災訓練に向かった地域で被害が広がっているというのに、自身

は新たな組閣の売り出しに懸命。首都圏の機能が麻痺したら内閣改造どころではない。千葉が麻痺しても内閣改造できるのは、自分たちに影響がないからである。その様子に必要以上に冷たさを覚えるのは、既視感があるからだろう。



第4次安倍再改造内閣の顔触れを見て驚く。初入閣を果たした西村康稔経済再生担当大臣といえば、昨年の西日本豪雨の際、避難勧告が出ている兵庫県選出の議員でありながら、「今夜は恒例の自民亭。和気あいあいの中、若手議員も気さくな写真を取り放題!正に自由民主党」に参加した多

くの議員は「安倍総理が差し入れた」(瀬田政調会長が差し入れた)加茂鶴とどっちを飲むだ?と聞かれ、一瞬戸惑いながらも、結局両方飲んでました笑笑 いいなあ自民党」とツイートした人物である。

この「赤坂自民亭」は竹下亘総務会長が「亭主を、翌日にオウム死刑囚を処刑する判断を下した上川陽子法相が「女将」、吉野正芳復興担当相をはじめとする7期生が「店員」を務めるという内輪の飲み会だ(肩書きは当時)。そんな会合の様子をすっかり漏らした彼が入閣したのである。

この政権は防衛費を膨らませる一方で、毎年のように発生する自然災害には、

(ただだ・さてつ)

(ライター)

(毎月第3火曜日掲載)